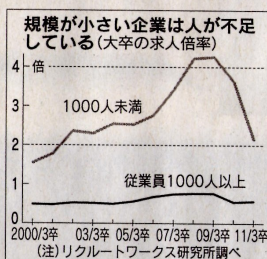


リージョンズ、現地大

語を、学生が多い中国の東北地方を中心に、現地大学と連携。中国人観光客対応の担当者や、将来の中国関連事業の責任者として、道内企業に紹介する。年間10人程度の成約を目指す。

接客や 幹部候補 インターンも



リージョンズは昨年、北京大学や清華大学など中国のトップ大学の学生を日本企業に紹介するトランスフェンド(東京・渋谷)と提携し、中国大学生の道内企業への紹介を始めた。1年間でノウハウを吸収し、日本語教育の盛んな中国東北地方の大学の学生を独自に開拓し

を後押しする。リージョンズは首都圏の大企業などでの勤務経験のある人材を、道内の中小企業に幹部社員として紹介する事業が主力。中国人学生も同様の基準で書類選考や面接を実施し、日本企業で幹部として働けるかなどを見極める。最終面接は依頼した企業が担当する。外国人登録や銀行口座の開設を手伝ったり、就職した中国人同士の交流の場を設けるなど来日後の支援も充実させる。料

道資源循環研

ホタテ内臓から肥料

年内メド事業化 カドミウム除去

特定非営利活動法人「道資源循環研」(NPO法人)北海道源循環研究所(札幌市)は、ホタテの内臓「ウロ」から重金属のカドミウムを除去し、肥料をつくる技術を開発した。現状では廃棄処理に1ト当たり1万5000円近くかかっているが、今回の技術を使うと1万円以下

内の1次産業の活性化に役立つ。ウロを専用施設に入れ、セ氏170度、20気圧の高温高圧状態で2〜4時間かけ処理。この過程でウロのタンパク質が分解され、植物の生育に役立つ液状のアミノ酸になる。また分解時に発生した様々な成分が微細なカ

道内景

日銀

日銀札幌支店は9日、3月の金融経済概況を発表した。道内の景気判断は「持ち直しを続けてい